

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-209490

(P2002-209490A)

(43)公開日 平成14年7月30日(2002.7.30)

(51)Int.Cl.⁷

A 0 1 K 97/06

識別記号

5 0 1

F I

A 0 1 K 97/06

データベース(参考)

5 0 1 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 6 頁)

(21)出願番号

特願2001-42558(P2001-42558)

(22)出願日

平成13年1月15日(2001.1.15)

(71)出願人 501066738

中村 トシ子

群馬県高崎市中尾町767-36

(72)発明者 中村 トシ子

群馬県高崎市中尾町767-36

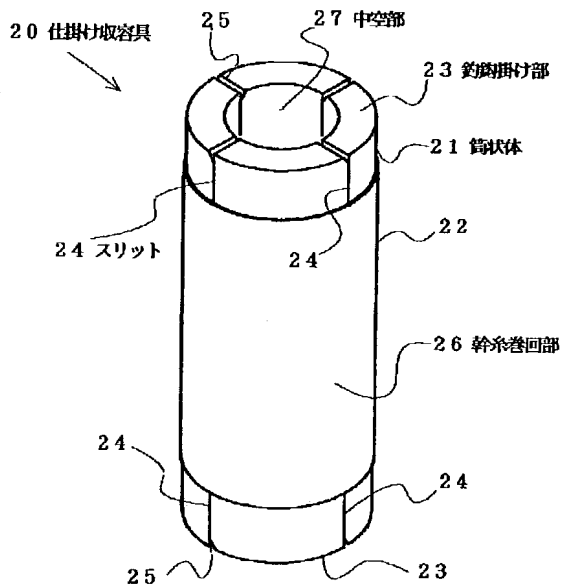
Fターム(参考) 2B109 BA11 BA14 BA16 BA25 BA26

(54)【発明の名称】 魚釣り用仕掛け収容具

(57)【要約】

【課題】 幹糸に多数の釣鉤を取り付けた仕掛け糸であっても、幹糸に取り付けた複数の各釣鉤をハリスを張った状態で掛け止めすることができるとともに幹糸の弛みが発生せずに巻き回しが行え、更にヨリモドシやサルカン等の接続具や幹糸に結合した状態のオモリや目印等のからみ合いが防止でき、且つ、使用時には仕掛けを収容具から用意に巻き解くことが可能な、釣り用の仕掛け収納具を提供する。

【解決手段】 中空の筒形状に形成された幹糸巻回部と、該幹糸巻回部の筒体の少なくとも一端面に発泡ウレタン等の非繊維質性の弾力性材料で構成された中空筒形状の釣鉤掛け部を前記幹糸巻回部と一体的に形成し、前記中空筒状部の端面に幹糸の始端側及び終端側を掛け止めるためのスリットを形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】中空の筒形状に形成された幹糸巻回部と、該幹糸巻回部の筒体の少なくとも一端面に発泡ウレタン等の非繊維質性の弾性材料で構成された中空筒形状の釣鉤掛け部を前記幹糸巻回部と一体的に形成し、前記中空筒状部の端面に幹糸の始端及び終端部を掛け止めるためのスリットを形成したことを特徴とする魚釣り用仕掛け収容具。

【請求項2】発泡ウレタン等の非繊維質の弾性材料を中空円筒形状に形成し、該弾性材料による中空円筒体の少なくとも一端側を除いた外周面にプラスチックシートを巻き付け、該プラスチックシートの外周面を幹糸巻回部として構成するとともに、前記弾性材料の前記一端側を中空円筒の釣鉤掛け部として構成したことを特徴とする請求項1に記載の魚釣り用仕掛け収容具。

【請求項3】幹糸巻回部が円筒の軸線方向の寸法が小さく扁平形状に形成されるとともに、軸線方向の両端面にフランジ部が一体的に形成されたリール型に形成され、釣鉤掛け部が前記フランジ部の少なくとも一方の外側面に張り付けられた円形の発泡ウレタンシート等の非繊維質の弾性材料により構成されていることを特徴とする請求項1に記載の魚釣り用仕掛け収容具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、サビキ釣りやワカサギ釣り等で使用する幹糸にハリスを介して多数の釣鉤を取り付けた仕掛けを、幹糸やハリスの絡みを防止して取り出し容易に収納できるようにした魚釣り用の仕掛け収容具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】サビキ釣りやワカサギ釣り等で使用する仕掛けでは、数10cm～1m程度の幹糸の中間部分にハリス糸を介して複数の釣鉤がほぼ等間隔で結合され、幹糸の両端にはサルカンやフック等の連結具が結合されたものが使用される。このような釣り用の仕掛けの1例としてワカサギ釣り用の仕掛けについて図11で説明する。仕掛け1は、長さがほぼ数10cmの幹糸2の始端側2aに釣り竿から伸びている道糸と幹糸2とを結合するためのヨリモドシ5及びフック6が連結されている。幹糸2の中間部にはほぼ等間隔に間隔をおいて、先端に釣鉤4を取り付けた多数のハリス3が結節され、更に終端側2bにはヨリモドシ5及びフック6が連結され、フック6にはオモリ7が連結されている。

【0003】これらの魚釣り用の仕掛けは、根がかり等で損失したり又は、釣り場の状況に応じて釣鉤の大きさやハリスの太さ又は長さ等を変更したりする為に、釣行の前に予め多数を用意して携行し釣り場で交換して使用する。また、釣行を終了する際には仕掛けを収納する必要がある。

【0004】一般に釣り用の仕掛けを持ち運び保管する

ために、厚紙等の台紙の一辺に鉤を掛け止めて幹糸と道糸を台紙に巻き付けた状態で収納する収納方法が使用されているが、幹糸の途中に複数の釣鉤を結びつけた仕掛けの場合には、幹糸に結びつけられたハリスと釣鉤が台紙から飛び出した状態となり、携行する際に釣鉤が他のものにかかって絡み合い、また台紙から仕掛けを解くときに幹糸が飛び出している釣鉤に引っ掛かって解く作業の障害となる。

【0005】ハリス糸及び釣鉤を台紙から飛び出さないように収容する仕掛け収容具として図10に示すものが従来より知られている。この従来の収納具は、厚紙やプラスチック製の台紙10の上辺に幹糸2の始端部2a及び終端部2bを挟み込ませるためのスリット11が形成されており、台紙10の表面中央部には複数の釣4を並べて掛け止めるためのプラスチック製の釣鉤掛け板12が両端部で前記台紙10に取り付けられ、更に台紙10の下辺には幹糸2の中間部分を挟み込ませるためのスリット13が形成されて構成されている。釣鉤掛け板12には釣鉤を挟持させるためのスリット14が形成され釣鉤3をスリット14に挟み込ませて保持するようにされている。

【0006】上記台紙型の収納具では、釣鉤掛け板12のスリット14に複数の釣鉤4を掛け止めて、ハリス3を張るように幹糸1の中間部分を台紙10の下辺を経由させて台紙の裏面側に引っ張って台紙10の下辺に形成したスリット13に挟み込ませるようにして収納するものである。これによってハリス3や釣鉤4が台紙10から飛び出すのを防止できるものであるが、幹糸2の中間部分2cが台紙10の裏面側でループ状に飛び出している状態となって、これが他のものに接触して幹糸2が台紙10のスリット11から外れてしまうことがある。また、釣鉤4が釣鉤掛け板12のスリット14に弾力的に挟持された状態となっているため、仕掛けを台紙10から巻き解いて使用する際には釣鉤4を手でつまんでスリット14から外してやる必要があり巻き解き操作が煩わしいものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、サビキ釣り用やワカサギ釣りの仕掛けのように、幹糸に多数の釣鉤を取り付けた仕掛けであっても、幹糸に取り付けた複数の各釣鉤をハリスを張った状態で掛け止めることができるとともに幹糸の弛みが発生せずに巻き回しが行え、更にヨリモドシやサルカン等の接続具や幹糸に結合した状態のオモリや目印等のからみ合いが防止でき、且つ、使用時には仕掛けを収容具から容易に巻き解くことが可能な、釣り用の仕掛け収納具を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0008】上記課題を解決するため請求項1の本発明は、中空の筒形状に形成された幹糸巻回部と、該幹糸巻回部の筒体の少なくとも一端面に発泡ウレタン等の非纖

維質性の弾力性材料で構成された中空筒形状の釣鉤掛け部を前記幹糸巻回部と一体的に形成し、前記中空筒状部の端面に幹糸の始端及び終端部を掛け止めるためのスリットを形成したものである。

【0009】また、請求項2の発明は、発泡ウレタン等の非繊維質の弾力性材料を中空円筒形状に形成し、該弾力性材料による中空円筒体の少なくとも一端側を除いた外周面にプラスチックシートを巻き付け、該プラスチックシートの外周面を幹糸巻回部として構成するとともに、前記弾力性材料の前記一端側を中空円筒の釣鉤掛け部として構成したものである。

【0010】更に、請求項3の発明は、幹糸巻回部が円筒の軸線方向の寸法が小さく扁平形状に形成されるとともに、軸線方向の両端面にフランジ部が一体的に形成されたリール型に形成され、釣鉤掛け部が前記フランジ部の少なくとも一方の外側面に張り付けられた円形の発泡ウレタンシート等の非繊維質の弾力材により構成したものである。

【0011】

【発明の実施の形態】以下図面に示す実施例に基づいて本発明の実施態様を説明する。図1及び図2は前記仕掛け1を収納するための本発明の第1の実施例による仕掛け収納具20を示すもので、仕掛け収納具20は発泡ウレタン等の非繊維質の弾力材で成形した中空の筒状体21と、該筒状体21の両端部分を除いて筒状体21の外周面に巻き付けられ接着されたビニールシート22によって構成されている。筒状体21の両端面はハリス3に結ばれている釣鉤4を差し込み固定するための釣鉤掛け部23として構成されている。この釣鉤掛け部23には幹糸2の始端部2a及び終端部2bを挟持するためのスリット24が円筒の放射方向に4カ所形成されており、スリット24の端面にはスリット24の位置を明示するための切欠25が形成されている。

【0012】ビニールシート22が巻き付けられた円筒の外周面はハリス3及び幹糸2を巻回する幹糸巻回部26として構成される。幹糸巻回部26の表面は例えば艶消し仕上げ等の粗面にされており、この幹糸巻回部26に巻回された幹糸2の軸方向への滑りを防止するようにして巻回した幹糸2が弛んでしまうことを防止する。更にビニールシート22の色彩を黒色等の濃色にすることによって、巻回された幹糸2やハリス3の視認性を良好としている。筒状に形成された幹糸巻回部26と釣鉤掛け部23の内側の中空部27は連結部材やオモリ等の収容部として利用される。

【0013】なお、筒状体21の材料としては、上記発泡ウレタン等の非繊維質の弾力性のある材料を使用することによって、釣鉤掛け部23に突き刺した釣鉤4のかえし部が繊維に引っ掛かって釣鉤を釣鉤掛け部23から抜けづらくするのを防止している。また、筒状体21の形成方法としては、所定厚さの平坦な素材を円筒形状に

丸めて形成することや、円筒形状の素材を所定長さに切断して製造することも可能である。更に、幹糸巻回部26を硬質のプラスチックで中空の筒形状に形成して、この中空筒の一端または両端に発泡ウレタン製の中空筒形状に形成した釣鉤掛け部23を取り付けした構造としてもよい。

【0014】上記収納具20の円筒軸線方向の長さ及び外径は、使用する仕掛け1の大きさ（特にハリス3の長さ）又は釣鉤の長さに応じて長さが10～30cm程度、外径が2乃至5cm程度の範囲で任意に設定するのが望ましい。また収納具20の中空部27の内径は仕掛けに連結されている連結部材及びオモリを収納できるように1.5～3cm程度に設定する。なお、上記実施例では幹糸巻回部26の両側に釣鉤掛け部23を形成して、1つの仕掛け1の釣鉤4を両端の釣鉤掛け部23、23に振り分けて収容したり又は2組の仕掛けを上下の釣鉤掛け部23、23に収容できるようにしたものであるが、幹糸巻回部26の一端側のみ釣鉤掛け部23を形成してもよい。

【0015】次に、上記実施例の仕掛け収納具20に、仕掛け1を巻き付ける手順について説明する。図3及び図7に示すように、まず仕掛け1の幹糸2の終端部2bを釣鉤掛け部23の端面に形成されたスリット24に挟み込み、この終端部2bに結びつけられたヨリモシ5やフック6を中空部27の内側に収容する。幹糸2の終端2aのフック6にオモリ7が連結されている場合にはこのオモリ7も中空部27内に収容する。そして、幹糸2を幹糸巻回部26の外周面に巻き付けて幹糸2にハリス3が結節された部分で釣鉤4を釣鉤掛け部23の端面に突き刺し、更にこの釣鉤4に結ばれているハリス3を張るようにして幹糸2を幹糸巻回部26に巻きつけていく。この操作を繰り返して全ての釣鉤4を釣鉤掛け部23の端面に並べて突き刺しその都度ハリス3を張りながら幹糸2を巻回する。最後に幹糸2の始端部2aを幹糸巻回部26の下端側のスリット24により挟持させて仕掛け1の収容作業が完了する。

【0016】仕掛け収容具20に収納してある仕掛け1を仕掛け収納具26から巻き解くには、幹糸2の始端部2aを下端側のスリット24から引きだして、幹糸2を幹糸巻回部26から巻き解く操作をするだけで、釣鉤4は幹糸2に結節されたハリス3の巻き解きによって順番に釣鉤掛け部23から外されて巻き解くことができる。この際に、釣鉤掛け部23に突き刺さっている釣鉤4は、釣鉤のかえし部が発泡ウレタンを破壊するので容易に釣鉤掛け部から離脱させることができる。このように、釣鉤4は幹糸2の巻き解きに従って順番にハリス3に引っ張られて釣鉤掛け部23から外されて、釣鉤4同士又は、幹糸2及びハリス3とが絡み合って巻き解きの操作を阻害することなく確実にしかも迅速に巻き解しができる。最後に幹糸2の終端部2bをスリット24か

ら引き出すことで仕掛け1の巻き解きが完了する。

【0017】図5乃至図7に本発明の別の実施例による仕掛け収容具30を示す。仕掛け収容具30は、幹糸2を巻回するための幹糸巻回部31を硬質のプラスチック材によって扁平形状の筒状体に形成し、発泡ウレタン製の所定厚さの円盤状に形成した釣鉤掛け部32を個別に作製し、この釣鉤掛け部32を前記幹糸巻回部31の一側面に接着剤等で固定することによって構成している。幹糸巻回部31は幹糸2を巻き付けるボビン部33とこのボビン部33の両端から外径方向に突出形成されたフランジ部34により構成されている。円盤状に成形した釣鉤掛け部32は前記一方のフランジ部34の外側面に接着して取り付けられている。

【0018】釣鉤掛け部32が形成されているフランジ部34aの外周縁にはハリス3がフランジ外周に沿って移動するのを規制するための比較的浅い切欠35が周方向に沿ってほぼ等間隔に複数形成されており、他方のフランジ部34bの外周縁には、幹糸2に係止するためのスリット36が複数形成されている。また、フランジ部34bの外側面には凹部37が形成されており、幹糸巻回部31の中心部には中空部38が形成されている。

【0019】上記実施例では、筒状体を形成している円筒の外径を例えば10cm〜20cm程度と比較的大きく形成し、釣鉤掛け部32の端面の面積をを大きく形成しており、例えばサビキ釣り用仕掛け等の比較的大きい釣鉤や擬餌釣鉤を釣鉤掛け部32の表面に整列させて掛け止めできるようにしている。

【0020】上記実施例による仕掛け収容具30に仕掛け1を収容する状態を説明する。幹糸2の終端部2bを幹糸巻回部31のフランジ部34bに形成したスリット36に挟み込んで止着し、幹糸2の終端部2bに結節してあるヨリモドシ等の連結部材をフランジ部34bの外側に配置する。幹糸2を両フランジ部34a、34b間のボビン部33に巻回して、幹糸2のハリス3を結節した部分がボビン部33に巻回された状態で、このハリス3をフランジ部34aの外周縁に形成した切欠35を経由させてこのハリス3に結ばれている釣鉤4を釣鉤掛け部32の端面に刺し止めて固定する。釣鉤4を試着する際には釣鉤掛け部32の弾力を利用してハリス3を春用にして釣鉤掛け部32の上端面に刺し止める。更に幹糸2をボビン部33に巻回ながら上記操作を繰り返して行い、最後に幹糸2の始端側2aをフランジ部34bのスリット36に挟み込んで完了する。幹糸2の始端側2aと終端側2bに結び止められた連結部材4、5は、フランジ部34bの外側面に形成した凹部37または中央の中空部38内に収容する。なお、これらの凹部37や中空部38に開閉は着脱可能な蓋を設置することによりこれらの連結部材やオモリの脱落が防止でき確実に収容しておくことが可能となる。

【0021】上記仕掛け収容具30における仕掛け1の

巻き解きは前述の実施例と同様に、幹糸2の始端側2aをフランジ部34bのスリット36から外して幹糸2をボビン部33から巻き解くことによって、釣鉤4は釣鉤掛け部32から外されて巻き解きが完了する。釣鉤掛け部32を発泡ウレタンで形成しているため釣鉤4のかえしが発泡ウレタンを破断するので釣鉤4は容易に釣鉤掛け部32から外れる。

【0022】なお、本発明は上記2つの実施例に限定されるものでなく、例えば、釣鉤掛け部23、32の形状や寸法は収容する仕掛けのサイズや仕掛けに使用している釣鉤の大きさ等によって適宜変更が可能であり、筒状体の形状も円筒形状の他に断面が楕円形、三角形又は四角形等の筒形状に形成してもよい。また、釣鉤掛け部23、32として使用する材料も発泡ウレタンに限定されるものではなく、非繊維質の弾力を有した材料であれば使用可能である。

【0023】

【発明の効果】上記の如く本発明の仕掛け収容具によれば、釣鉤の先端は釣鉤掛け部の非繊維質の弾性体の内部に収容され、その釣鉤先が全く外に出ないので、安全であり、また釣鉤先が傷むこともない。また、釣鉤掛け部を非繊維質の弾性部材により構成しているため、ハリス3を幹糸2を介して引っ張ることによって釣鉤掛け部に突き刺さっている釣鉤4のかえし部が釣鉤掛け部材を破断するので容易に抜き取ることが可能である。従って、収容具からの仕掛けの巻き解きが容易に行える。

【0024】また、筒状体の端面に形成した弾力性の釣鉤掛け部に釣鉤を止め、幹糸とハリスとを筒状体の外周面に形成した幹糸巻回部に巻回するようにしていることで、ハリスが幹糸に引っ張られて張った状態で収容でき、従って、ハリスが飛び出すことがなく釣鉤が外れてしまったり、絡んでしまうことがない。更に、仕掛け収容具の全体形状を中空の筒状に形成しているため、仕掛けを構成している幹糸の始端及び終端に連結されているヨリモドシやフック等の連結部材及びオモリ等を中空部分の内部に収容できるので、仕掛けを収容した状態で携行する際に、これらが揺動して幹糸の止着部が外れたり絡んだりすることが防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1の実施例による仕掛け収容具を示す斜視図。

【図2】 図1と同じ実施例の縦断側面図。

【図3】 第1の実施例の仕掛け収容具に仕掛けを収容した状態の斜視図。

【図4】 図3と同じ状態の縦断側面図。

【図5】 本発明の第2の実施例による仕掛け収容具を示す斜視図。

【図6】 図5と同じ仕掛け収容具の縦断側面図。

【図7】 図5と同じ仕掛け収容具の裏面側を示す斜視図。

【図8】 第2の実施例の仕掛け収容具に仕掛けを収容した状態を示す斜視図。

【図9】 図8と同じ仕掛けを収容した仕掛け収容具の裏面側を示す斜視図。

【図10】 従来の仕掛け収容具に仕掛けを収容した状態を示す斜視図。

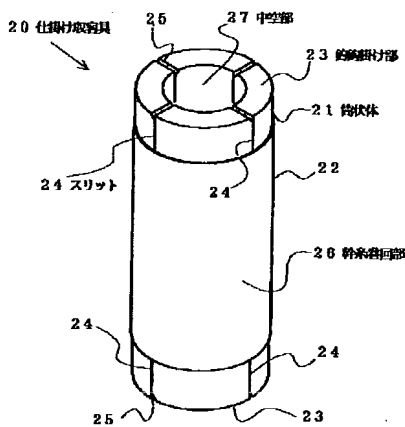
【図11】 本発明の仕掛け収容具に収容する仕掛けの一例を示す斜視図。

【符号の説明】

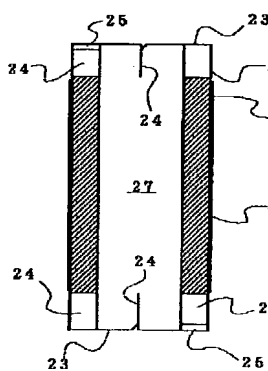
20 仕掛け収容具
21 筒状体
22 ビニールシート
23 釣鈎掛け部

24 スリット
25 切欠
26 幹糸巻回部
27 中空部
30 仕掛け収容具
31 幹糸巻回部
32 釣鈎掛け部
33 ボビン部
34 フランジ部
35 切欠
36 スリット
37 凹部
38 中空部

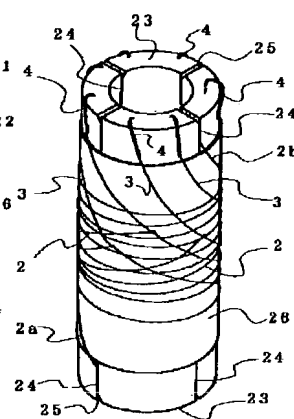
【図1】



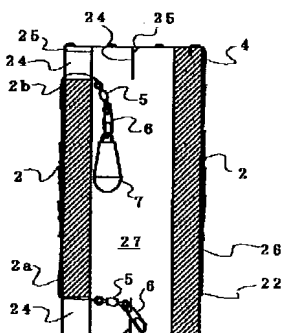
【図2】



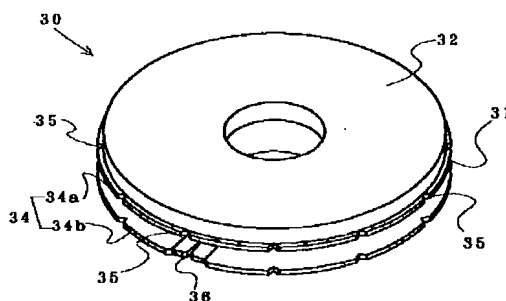
【図3】



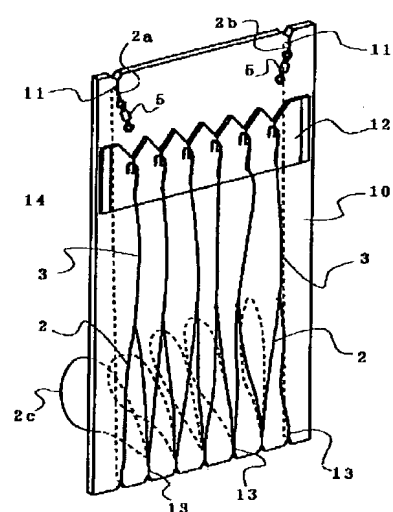
【図4】



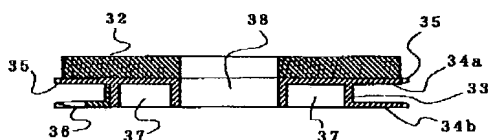
【図5】



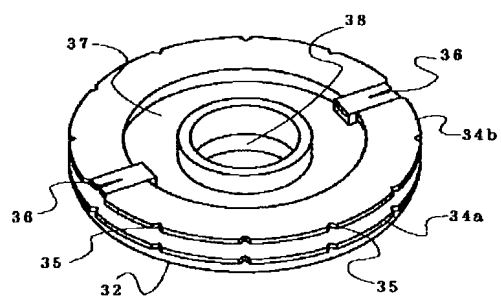
【図10】



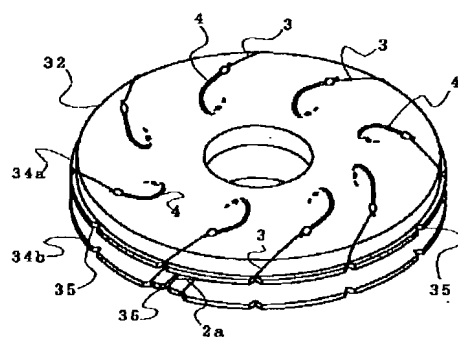
【図6】



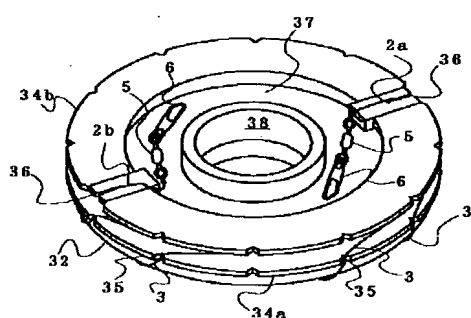
【図7】



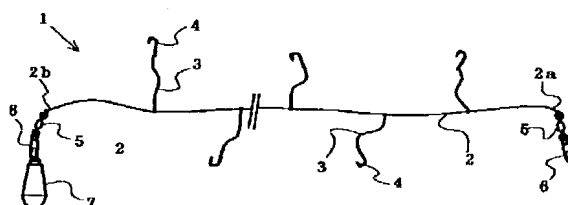
【図8】



【図9】



【図11】



PAT-NO: JP02002209490A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002209490 A
TITLE: RECEIVER FOR FISHING TERMINAL TACKLE
PUBN-DATE: July 30, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

| | |
|-------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| NAKAMURA, TOSHIKO | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| | |
|------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| NAKAMURA TOSHIKO | N/A |

APPL-NO: JP2001042558

APPL-DATE: January 15, 2001

INT-CL (IPC): A01K097/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a receiver which is used for a fishing terminal tackle, can hook and fix fishhooks attached to a fishing line in a leader-stretched state, on which the fishing line can be wound without losing fishing line, and which can prevent the entanglement of a sinker, a marker or the like in a state that a connector such as a swivel is connected to the fishing line and can easily release the terminal tackle from the receiver on its employment, even when a terminal tackle having many fishhooks attached to the fishing line, is received.

SOLUTION: This receiver for the fishing terminal tackle

is obtained by
integrally forming a fishing line-winding portion formed in
a hollow
cylindrical shape and at least one hollow cylindrical
fishhook-hooking portion
comprising a non-fibrous elastic material such as
polyurethane foam on at least
one end of the cylindrical body of the fishing line-winding
portion, and
further forming slits for hooking the starting end side and
the final end side
of the fishing line on the end side of the hollow
cylindrical portion.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

DERWENT-ACC-NO: 2003-816340

DERWENT-WEEK: 200377

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishhook receiver for fishing
terminal tackle, has slits
formed in fishing line integrally
provided on both ends
of hollow cylindrical
fishhook-hooking portion made of
polyurethane foam

PATENT-ASSIGNEE: NAKAMURA T[NAKAI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0042558 (January 15, 2001)

PATENT-FAMILY:

| PUB-NO | PAGES | PUB-DATE | MAIN-IPC |
|-----------------|-------|---------------|----------|
| JP 2002209490 A | 006 | July 30, 2002 | N/A |
| | | A01K 097/06 | |

APPLICATION-DATA:

| PUB-NO | APPL-DATE | APPL-DESCRIPTOR | APPL-NO |
|----------------|-----------|------------------|---------|
| JP2002209490A | | N/A | |
| 2001JP-0042558 | | January 15, 2001 | |

INT-CL (IPC): A01K097/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002209490A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The fishhook receiver (20) has slits (24,25)
formed in fishing line
integrally provided on both the ends of the hollow
cylindrical fishhook-hooking
portion (26) made of polyurethane foam.

USE - For receiving fishhooks of fishing terminal tackle.

ADVANTAGE - Prevents entanglement of a sinker, a marker,

when a connector such
as swivel is connected to fishing line. Facilitates easy
release of the
terminal tackle with many fishhooks attached to fishing
line.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the schematic
view of the fishhook
receiver. (Drawing includes non-English language text).

fishhook receiver 20

slits 24,25

hollow cylindrical fishhook-hooking portion 26

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

TITLE-TERMS: RECEIVE FISH TERMINAL TACKLE SLIT FORMING FISH
LINE INTEGRAL END

HOLLOW CYLINDER HOOK PORTION MADE POLYURETHANE
FOAM

DERWENT-CLASS: A86 P14

CPI-CODES: A12-F01; A12-S02;

ENHANCED-POLYMER-INDEXING:

Polymer Index [1.1]

018 ; P1592*R F77 D01 ; S9999 S1309*R

Polymer Index [1.2]

018 ; Q9999 Q7578 ; Q9999 Q7556 ; K9416 ; ND01

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2003-227467

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-653415